

2021 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 柏崎市女性防災士のすてっぷ

代表者・役職名 氏名 松本 祐子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

防災・減災に繋がる行動の啓蒙活動

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。)

当団体は 2019 年 4 月に発足しました。柏崎市在住又は市内に勤務する女性防災士及び当会の趣旨に賛同する女性有志によって構成されています。女性ならではの視点を活かし、日常に役立つ防災・減災に関わる知識と技能の研鑽に資する活動を通じ、市民の防災力向上の一助を担いたいと言う目標の元活動しております。現在、会員は 15 名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

災害から命を守るために地域での自助・共助の活動が重要視されている現状を踏まえ、当会も地域の防災力向上に役立ちたいと日頃より考えております。そのためには、勉強会等により個人個人のスキルアップを図り、その成果を講習会に反映させる事で地域の防災・減災行動の拡充に寄与する事が出来るものと考えました。それがプロジェクトへの足掛かりになりました。その背景には 2 度の地震を経験しており、防災・減災対策及び知識が安全確保に不可欠であると痛感した事にあります。また女性目線からの防災活動を継続する事も当会の目的です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

毎月1回の定例会、柏崎市主催の講座受講や、ロープワーク・ペット防災・応急手当・話す力と聞く力といったテーマの勉強会を4回、地域に向けての講習会を6回開催しました。また、中越地震ミュージアム「備え館」への防災研修を実施しました。防災研修は募集定員20名丁度の参加となり、受講した2時間コースは中越地震及び中越沖地震で構成されており、地震の揺れも体験出来た事から災害を身近に感じられ、改めて日頃の備えの大切さを考えさせられる有意義な時間となりました。その他、柏崎市関連の講座補助の仕事にも携わりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

今回のプログラムの中で得られた事としては、定例会により当会の目的の浸透及び理解を深める事ができ、より一層結束力が増しました。更に勉強会でスキルアップを図りその成果を講習会に反映させ、地域の防災・減災行動の拡充に注力すると言う目的に近づけたものと思います。防災研修においては、皆さんが自分の目で見、更に体験する場を提供できた事で、防災・減災について関心の目を向けるきっかけ作りができ、それが地域の防災力向上活動に繋がる1歩となると確信致しました。活動を通して当会に関心を示された方もおられ、今後の活性化に期待が持てるものです。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ご承知の通り、コロナウイルス感染症拡大の中での活動は計画通りに進めることが難しく、今回のプロジェクトも変更し当初と違う形になりましたが、内容的には当会の趣旨に沿ったものとなりました。今後は立案の段階から綿密な計画を立て、柔軟な対応がとれるようなプロジェクトを考えていきたいと思っています。そして、会員数の増加に努め、より幅広く活動していきたいです。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

